

プレゼンテーション以前

～教育内容の最低保障とその標準化を目指して～

分科会①12:40～13:15

少年工科学校 情報教官

松下 尚城

本研究発表の目的

- PPを用いたスライド発表を学習する前に必要な技能に関する研究報告
- 教育内容の最低保障に関する実践報告
- 皆様からの意見をいただき、よりよい授業を行う資とする。

目次

- 自己紹介

(少年工科学校についても同時に紹介)

- 本校で発生した問題および解決方法

(テキストベースプレゼンテーション)

- プレゼンテーション以前

(テキストベースプレゼンテーションまでとその先)

- 将来への展望

- まとめ

自己紹介

松下 尚城(28歳)

- 平成15年採用の情報教官
- 担当科目(本年担当科目は下線)
 - 普通科目 情報A、情報B
 - 専門科目 情報システムの開発、ネットワーク
- 少年工科学校の特徴
 - 陸上自衛隊の学校(自衛官教育)
 - 神奈川県立横浜修悠館高等学校との提携
(高校教育)

目次

- 自己紹介

(少年工科学校についても同時に紹介)

- 本校で発生した問題および解決方法

(テキストベースプレゼンテーション)

- プレゼンテーション以前

(テキストベースプレゼンテーションまでとその先)

- 将来への展望

- まとめ

本校で発生した問題 1 / 2

- ここ数年、プレゼンテーション関連の技術の向上が見られた。

(とんでいた。)

- 総合科の発表、クラブ紹介で見たPPの感想

なんだこれは!!

本校で発生した問題 2/2

- 結局、チョコチョコとしたテキスト＋アニメーション＋なんとなく使われている図解
(使える武器が増えただけ。)
- どうも、教員同士でも教えることが違う。
(情報以外の教員も含めて)

情報科＝教える人の技量次第

本校における情報教育の問題点と その解決法

- 今までの情報科
 - 問題解決型が行き過ぎて結果偏重ぎみ
 - 教える内容が異なり、能力の最低保障ができない。
 - 教科としての発展が教員の個人能力によって阻害されている。
- これからの情報科
 - 製作過程の細部見直し
 - 基本的な学習項目を全教員が統一することで、能力を保証

学習項目洗い出しの思考過程

表現手法の学習をどう考えるか？

- 情報表現の目的
 - 正しく情報を伝えて、受け手に変化を与えること
- 表現方法の多様化
 - ゴール(情報を伝える)への道筋は複数存在
- 真の学習目的
 - 限られた時間の中で情報表現を構築・実施する。
 - 「相手をとらえ、考えを伝える」を鍛える。

表現手法教育の簡素化が必要

結局のところ...

本研究のテーマ

プレゼン教育のマニュアル化

- 利点

- 簡単にスライドが作成できる。
- 余った時間で資料の推敲が可能
- 科目間の接続が容易

- 問題点

- 表現手法の画一化

(表現力・応用力をどうつけるか?)

現在研究中の情報表現手法

テキストベースプレゼンテーション

～ポイント～

- スライドをテキストのみで作成
- スライドのみで趣旨を伝える。
(テキストの完成度の向上)
- スライドの構成を指定どおりする。
(箇条書き、体言止め、項目・説明法)
- 趣旨を首尾一貫させる。

目次

- 自己紹介

(少年工科学校についても同時に紹介)

- 本校で発生した問題および解決方法

(テキストベースプレゼンテーション)

- プレゼンテーション以前

(テキストベースプレゼンテーションまでとその先)

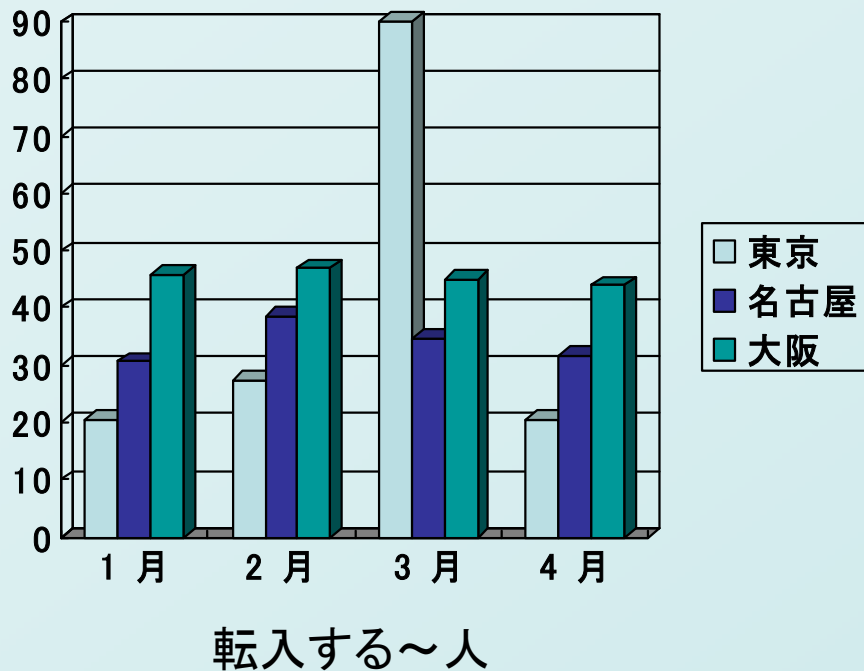
- 将来への展望

- まとめ

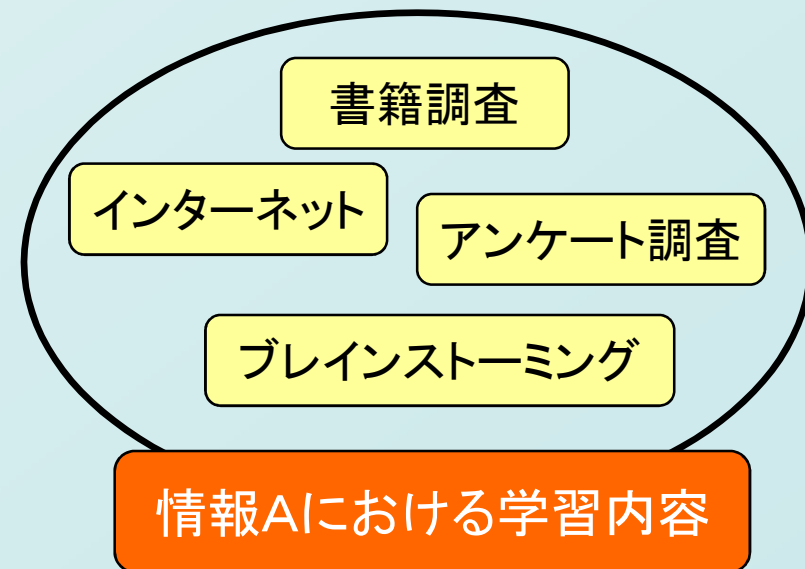
ここで突然ですが...

スライドにおける図の活用について

- グラフや図解を使いませんか？



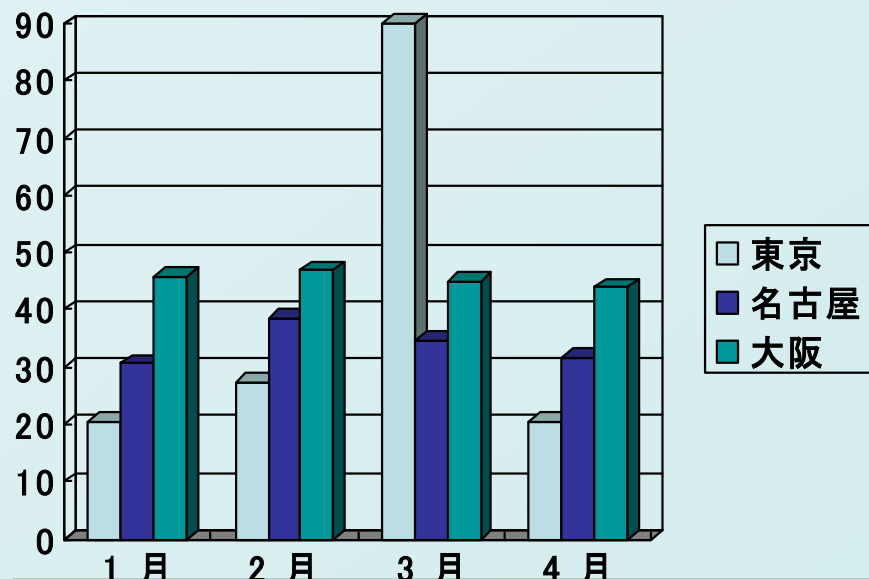
- 1 情報を収集しよう。



図やグラフを使用する問題点

- この表の趣旨は何か？

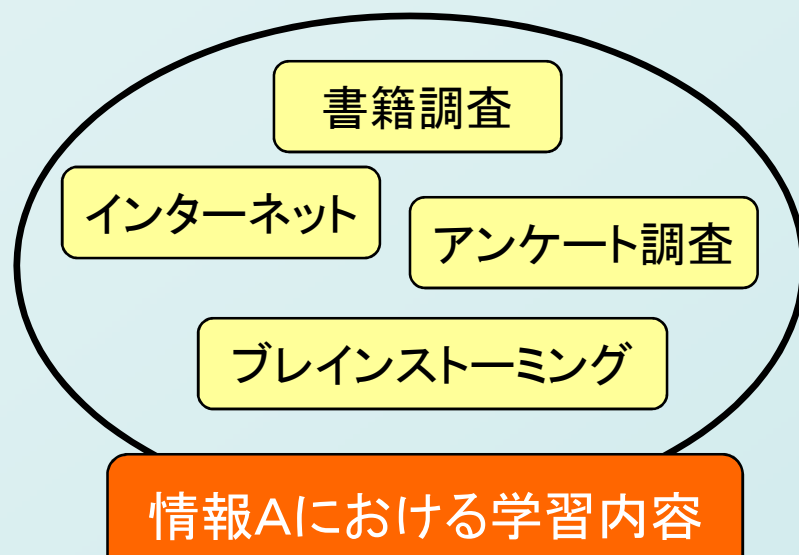
- 東京の3月は転入人口が多い？
- 大阪の転入人口の変動は少ない。
- 東京の転入人口は予想が立てづらい？



趣旨に合ったグラフを作成する必要がある。
→趣旨をまず確認する必要がある。

図やグラフを使用する問題点

1 情報を収集しよう。



- 円で囲まれた4つの項目については「等価」としてよいか。

- 「等価」であるとすれば、この図は適切
- 重視する項目はないのか。
- 重視する項目はプレゼンテーションの主題との

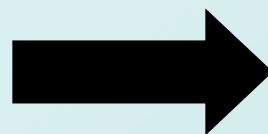
項目の関連については、
図解にする前に評価する必要がある。

テキストベースプレゼンテーション以前

手順① 項目分類＋段下げ

- 以下の用語を分類・階層化して表現しなさい。

圧縮
ランレングス法
可逆圧縮
非可逆圧縮
ハフマン法



圧縮
1 可逆圧縮
 (1)ランレングス法
 (2)ハフマン法
2 非可逆圧縮

指導内容

- ・1 (1) ア (ア) a (a)...
- ・「等価」な項目には・(中点)も使用可能
- ・段下げの活用

テキストベースプレゼンテーション以前 手順② 体言止め+α

- 以下の説明文を体言止めを活用して簡潔に表現しなさい。

本校の特徴は、陸上自衛隊の教育と、一般高校で行われる高等学校の教育が同時に行われる点です。



本校の特徴

- ・本校独特の自衛隊教育
- ・他校と同等の高校教育

指導内容

- ・体言止めに伴う助詞の変更
- ・体言の前に使用する修飾語の精選

テキストベースプレゼンテーション以前 手順③ 「項目・説明」法(勝手に命名)

目次

- ・台湾入門
- ・お勧め観光スポット
- ・台湾について聞いてみました。
- ・まとめ

説明なし

目次

- ・台湾入門
 - 台湾を知ってみよう!
- ・お勧め観光スポット
 - 自然と都市のコラボレーション
- ・台湾について聞いてみました。
 - 台湾でどんなところですか?
- ・まとめ

「tab」を利用

目次

- ・台湾入門
 - (台湾を知ってみよう!)
- ・お勧め観光スポット
 - (自然と都市のコラボレーション)
- ・台湾について聞いてみました。
 - (台湾でどんなところですか?)
- ・まとめ

「tab」+ 中点消し + 右揃え

指導内容

- ・空間を絵で埋めることはしない。
- ・小細目の項目数等でレイアウトを決定
- ・説明文でプレゼンテーションの流れが見える。

テキストベースプレゼンテーションへ 手順④プレゼンテーションの構築法

- プレゼンテーション全体の構成
 - 序論・本論・結論
 - 起・承・転・結
 - 序論・論証・反論・反論への反論・結論
- 議論の構成
 - 帰納法 事実→公理
 - 演繹法 公理→事実
 - 3段論法 大前提、小前提、結論
 - 弁証法 折衷案法

By 国語便覧

テキストベースプレゼンテーションへ 手順⑤ 脇役の規定 ±α

- タイトル

(キャッチフレーズ、発表者の提示)

- 目的

(作成者が目的を再確認する目的もある。)

- 目次

(作成者が構成を再確認する目的もある。)

- まとめ

(趣旨の明確化と、全体の再構成に資する。)

テキストベースプレゼンテーションの次？ 本年度の進捗状況

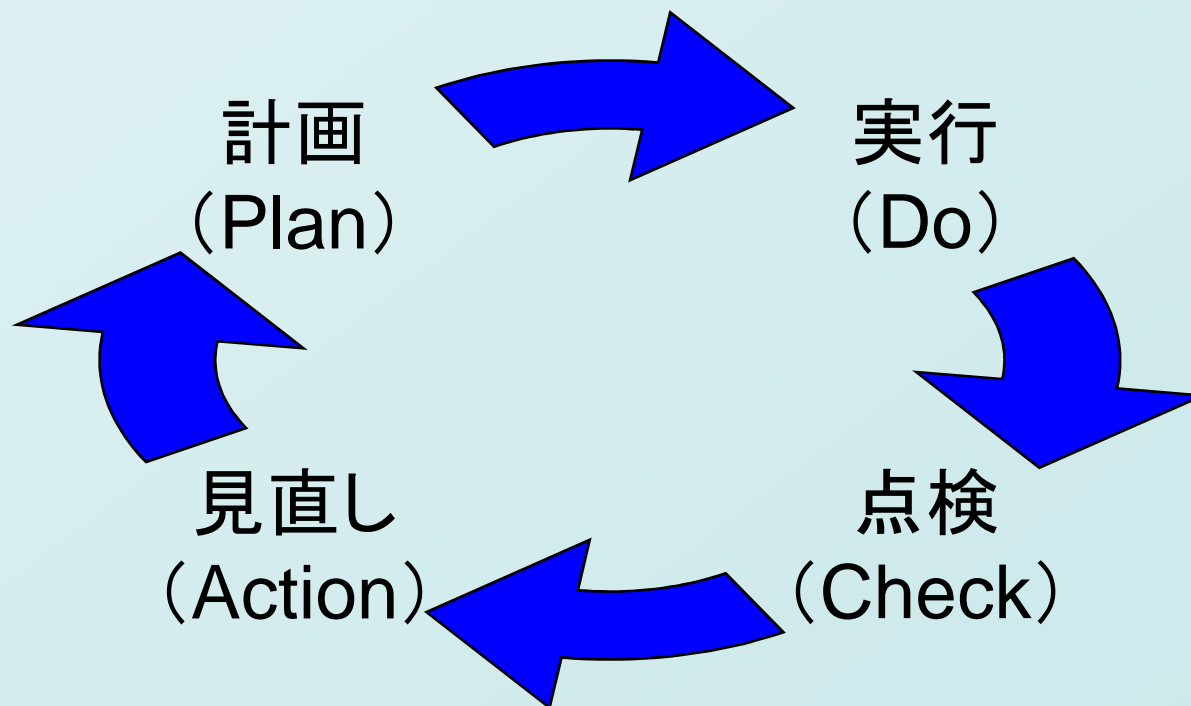
- 5月
 - 本研究を「神奈川県情報部会研究大会」で発表、その後ディスカッション
- 6月～
 - 1学年「情報A」で情報表現学習開始

- ・生徒:「テキストベースプレゼンテーション」の基盤となる情報表現法の学習を開始
- ・私:他の教員との交流や継続研究により、本研究の新たな可能性を模索
 - ・テキストベースプレゼンテーションの次をどうするか？
 - ・推敲能力向上に向けたサイクルモデルの構築

余談

PDCAサイクルモデルとは

- 計画(Plan)、実行(Do)、点検(Check)、見直し(Action)を繰り返すことで、対象の完成度を向上させる手法



感動！あったか！
行ってみよう台湾

発表者 鈴木 太郎

本プレゼンテーションの目的

- 台湾について紹介する。
- 台湾の観光名所や台湾に住んでいる人々の人柄を紹介して、台湾に来たいと思ってもらう。

ポイント

- 表現力・応用力
(TBPの次)
- サイクルモデル

目次

- 台湾入門
(台湾を知ってみよう！)
- お勧め観光スポット
(自然と都市のコラボレーション)
- 台湾について聞いてみました。
(台湾でどんなところですか？)
- まとめ

台湾入門

- 地理
 - 人口 2200万人(日本の5分の1程度)
 - 面積 36000㎡(九州よりやや小さい。)
- 気候
 - 基本的には温暖(雪の降る山もある。)
- 産業
 - 電子機器(NIEsの一員)

お勧め観光スポット

- 台北101
 - 高さ508mの世界第2位の超高層ビル
- 八徳路の電腦街
 - 電子立国「台湾」を象徴する電腦街
- 淡水
 - 夕焼けの美しいベイサイド
 - 屋台では50cmのソフトクリームを食べましょう！

台湾に関するQ&A

- 田舎なんじゃないんですか？
 - ハイテク都市や観光スポットが充実しています。(台湾在住 李氏)
- 物価はどうですか？
 - 日本より安価です。(バックパッカー 鈴木氏)
- 日本人に対して、特に嫌な感情を持ってないの？
 - 昔日本人に助けられたようで、台湾人は日本人を大切にしてくれます。(大阪在住 田中氏)

まとめ

- 台湾とは
 - 都市と自然のコラボレーション
(多種多様な観光名所の存在)
 - 心温まるふれあいで感動！
(日本人に対して好意的)
- 今度の連休は台湾へ行こう！**
(近さもウリ)

目次

- 自己紹介

(少年工科学校についても同時に紹介)

- 本校で発生した問題および解決方法

(テキストベースプレゼンテーション)

- プレゼンテーション以前

(テキストベースプレゼンテーションまでとその先)

- 将来への展望

- まとめ

将来への展望 の前提...


- 生徒が持つべき最低限の能力を担保できなければ科目としての更なる飛躍はない。
(数学Ⅰ→数学Ⅱ→数学Ⅲ)
- 要領だけで教育内容を保障することは難しい。
(本校の情報教官(6名)でも難しい)

教育内容の最低限保障を進めるべき
(具体性を持って)

将来への展望

- 本研究を反映させた資料(教科書)の作成
(実施済み)
- ポスターセッションのマニュアル作り
(パワーポイントとの親和性から)
- 最低限 + α の α 作り
(最低限が統一されれば α の幅も広がるはず)

最後に...



- ご静聴ありがとうございました。
- 皆様からの意見をいただきたいと思っています。よろしければご連絡をお願いいたします。

松下 尚城

E-mail aikonao@hotmail.com

その先は？

図解

- 1 文字の強調
- 2 スライドの結論の特出し
 - オートシェイプ
- 3 箇条書きの階層から図解？
 - 等位 ベン図等
 - 流れ オートシェイプと矢印(↓)
 - 対比 オートシェイプと矢印(⇔)
- 4 2と3の併用型
- 5 後は、芸術の世界
(とにかく見て、とにかく書く！)

とにかく見てとにかく書く！

教材研究不足

(下手な鉄砲を打たせることになる)

グラフ

- 0 データの収集法の学習
 - 自身による統計
 - インターネット等からの出典
 - アンケート手法
 - 情報操作
- 1 とりあえずグラフを作成
- 2 図解2との併用
(強調点の文字化)
- 3 軸の範囲、メモリ間隔の設定
 - 格差表現 数値の範囲を狭めて、間隔をあげる
 - 吹き出しとの併用
 - 図解2との併用

